

藤井寺市公共施設再編基本計画（概要版）

1. はじめに

本計画は、「藤井寺市公共施設等総合管理計画」に基づき、市民ニーズへの対応と財政負担の軽減を図るため、公共施設の機能をできるだけ維持しながらも、将来のまちづくりの方向性を踏まえた施設の統廃合、複合化、機能の集約など、効果的な再編を進めることを目的としています。

【対象施設】 市が保有している公共施設（建築物）66施設

【対象期間】 平成29年度（2017年度）から平成58年度（2046年度）までの30年間

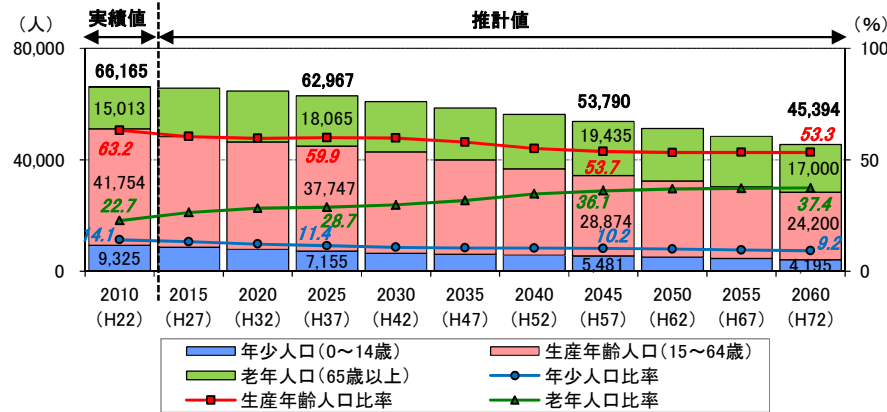
2. 公共施設等を取り巻く現状と課題

●本市の目指すまちづくり

- 第五次総合計画では、「つどい つながり 育つまち ふじいでら」を将来像のイメージとし、より一層魅力を高め、理想的な住まいとして人とまちが成長していくまちづくりを進めています。
- 将来像の実現のため、「住みたいまち」「訪れたいまち」「住み続けたいまち」を目標として設定しています。

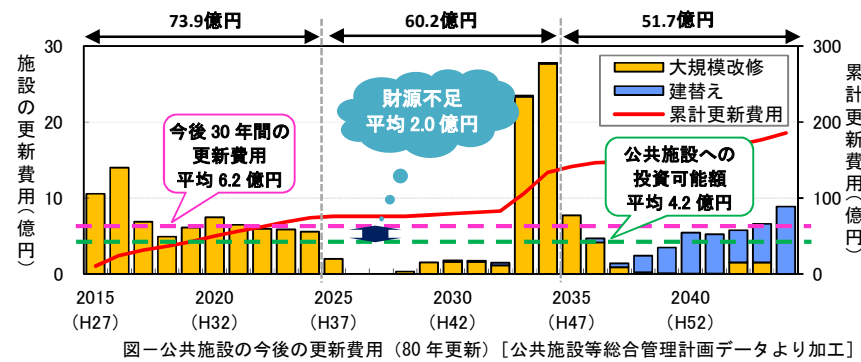
●今後の人口動向

- 人口は、平成22年の66,165人から平成57年には53,790人まで減少すると推計されています。
- 平成22年と比較して、平成57年には年少人口約41%減少、老年人口約29%増加することが予想されています。



●公共施設の更新費用の見込み

- 公共施設をすべて維持した場合、今後30年間で年平均15.4億円（計463.4億円）が必要になる結果となっています。
- 公共施設の長寿命化（80年更新）を図ったとしても、年平均6.2億円（計185.7億円）が必要になり、インフラ施設を考慮すると、今後施設の更新に充てる財源は不足します。



3. 公共施設再編方針

公共施設再編方針

【機能（サービス）と公共施設の再編】

- ①機能のあり方を見直す
- ②必要な機能を維持する
- ③利用状況・コストを踏まえる
- ④市民ニーズを反映する

【まちづくりと公共施設の再編】

- ①市の特性を踏まえる
- ②地域性を踏まえる
- ③まちづくり施策と連動する
- ④市民等と協働で進める

長期的な視点でみた機能（サービス）のあり方

提供形式	基本的な考え方	機能（サービス）
行政主導型	・行政が自ら機能を提供する必要があるもの。 ・行政主導で施設を整備・運営し、機能を提供する。	行政窓口、学校教育、保健、倉庫・車庫
公設民営型	・行政が機能を提供する必要があるが、整備・運営に民間活力の導入が可能であるもの。 ・行政主導で施設を整備し、民間がノウハウを活かして効率的な運営、質の高い機能を提供することが可能。	集会、教育文化、スポーツ、福祉、火葬場
民間主導型	・行政による機能の提供とともに、類似の民間施設の利用が可能であるもの。 ・民間主導で施設を整備・運営し、機能を提供することが可能。行政は利用料補助等の制度面での対応も可能。	子育て支援、医療、居住、駐車場・駐輪場

公共施設再編方針を踏まえ、以下の流れで公共施設の再編を検討

- (1) 施設評価：建物性能や利用状況、コスト状況、立地状況などのデータを基に、客観的な観点から施設を定量的に評価
- (2) 総合評価：本市の目指す姿や課題を見据え、(1)に加え、長期的な視点でみた機能のあり方、市の重点施策、有識者等による検討結果（公共施設マネジメント検討委員会・Eパートナー）、市民意向（市民アンケート等）を踏まえ、施設を総合的に評価
- (3) 個別施設の再編の方向性：(2)に基づき、再編の方向性を整理（施設の更新時期や機能の検討時期等から、概ねの取組時期も設定）
- (4) 再編のための重点取組：(3)を踏まえ、市が重点的に取り組む事項を整理

4. 個別施設の再編の方向性

①子育て支援充実のための再編

【目指す姿】 未来を担う子どもの安全確保と“就学前教育・保育サービスの充実”

- 【課題】
- ・老朽化の進行による今後の維持保全費用の増大
 - ・耐震性の確保（一部耐震改修実施中）
 - ・幼稚園の定員充足率の低下に伴う集団教育の効果の不安
 - ・保育所の待機児童の発生と将来的な保育ニーズの把握

施設名	再編の方向性	再編時期		
		短	中	長
藤井寺幼、藤井寺南幼、藤井寺南幼野中分園、藤井寺西幼、藤井寺北幼、道明寺東幼、道明寺南幼	・教育上の観点や児童数の動向、施設の老朽状況、地域性等を踏まえた施設の統廃合や他施設への機能移転の検討	◎	-	-
道明寺幼川北分園	・廃止の検討、倉庫部分は作業所・倉庫等を複合した施設への機能移転の検討	◎	-	-
第1保育所、第4保育所、第5保育所、第6保育所	・児童数や他の子育て施設整備の動向、施設の老朽状況、地域性等を踏まえた施設の統廃合や他施設への機能移転、民間施設の利用等の検討	◎	-	-
第3保育所	・将来的な駅周辺整備と連動した隣接施設と一体的な再整備の検討	○	○	◎
放課後児童会 [6施設（道小除く）]	・継続使用（小学校との複合）	-	-	-
放課後児童会（道小）	・道明寺小学校への機能移転の検討	◎	-	-

➡ 【重点取組】 将来的な児童数や他の子育て施設整備の動向等を踏まえ、機能の最適な提供方法も考慮した本市における幼稚園・保育所のあり方や適正な施設数を検討します。

3. 公共施設再編方針

公共施設等総合管理計画

【取組の柱】 施設の再編による保有量の縮減

- 施設の機能はできるだけ維持し、将来のまちづくりの方向性を踏まえた公共施設の再編を行い、施設保有量の縮減を進めていきます。
- コンパクトなまちである本市の特性を活かして、全市的な視点から、分野横断的に施設の多機能化（集約化・複合化）や統廃合、用途の転換等を検討し、効果的な再編を進めていきます。

【公共施設（建築物）の原則】

- ・新規整備は原則行わない
- ・施設の更新は複合施設とする

【数値目標】

- 施設保有量を30年間で15%縮減（延床面積を約19,500㎡縮減）

4. 個別施設の再編の方向性

②にぎわい創出のための再編

【目指す姿】 **施設利用者の安全確保と“新たなにぎわいの創出・交流の場の充実”**

- 【課題】
- ・老朽化の進行による今後の維持保全費用の増大（特に市民総合会館（本館）の大ホール等）
 - ・市民総合会館（分館）、図書館、市民総合体育館のアリーナの耐震性の確保
 - ・機能見直しによる貸室稼働率の向上（現状稼働率が低く、ばらつきあり）
 - ・今後市民ニーズが高まる高齢者等支援機能の駅や幹線道路から遠いことによる利便性の低さ（老人福祉センター、生涯学習センター）
 - ・大規模かつ利便性の高い市有地の有効活用（スポーツセンター、図書館）
 - ・世界文化遺産登録に向けた情報発信機能等の充実

施設名	再編の方向性	再編時期		
		短	中	長
市民総合会館（本館）	・ホール機能の見直しと有効活用（図書館や健康増進施設、文化財展示室等への転用など）の検討	◎	-	-
市民総合会館（別館、分館）	・貸室稼働率向上のための市民総合会館（本館）と市民総合会館（別館）への機能集約の検討	◎	-	-
図書館	・施設稼働率や市民の利便性向上を図るための近隣市有地を活用した図書館やアリーナ、民間施設等を複合化した施設整備の検討	◎	-	-
市民総合体育館	アリーナ	◎	-	-
	心技館	○	◎	-
スポーツセンター	・グラウンドの他施設の敷地への機能移転の検討 ・立地条件や敷地規模を活かした図書館やアリーナ、民間施設等を複合化した施設整備の検討	◎	-	-
老人福祉センター	・市民の利便性向上のための市東部及び西部の複数施設への機能移転の検討	○	◎	-
福祉会館	・継続使用（市民総合会館（別館）との複合）	-	-	-
生涯学習センター	・機能の見直しと施設の多機能化（高齢者等支援機能、世界遺産ガイダンス機能の充実等）の検討	○	◎	-
史跡城山古墳ガイダンス棟	・ガイダンス部分の機能の見直しの検討	○	◎	-

【重点取組】 **市の中心部にあるスポーツセンター及び図書館の敷地を新たな拠点として位置づけるとともに、市民サービスの向上と市の財政負担の軽減を図るため、PPP/PFI手法など民間を活用した図書館やアリーナ、民間施設等を複合化した施設の整備を検討します。**

③教育活動充実のための再編

【目指す姿】 **未来を担う子どもの安全確保と“様々な教育活動の実現”**

- 【課題】
- ・老朽化の進行による今後の維持保全費用の増大
 - ・藤井寺南小学校、藤井寺西小学校、道明寺小学校、藤井寺中学校の耐震性の確保（それぞれ耐震改修または建替え実施中）
 - ・将来的な児童数・生徒数減少による空き教室や空き校舎発生懸念

施設名	再編の方向性	再編時期		
		短	中	長
藤井寺小、藤井寺南小、藤井寺西小、藤井寺北小、道明寺東小、道明寺南小	・教育上の観点や児童数の動向、地域性等を踏まえた将来的な施設のあり方の検討	○	○	◎
道明寺小	・放課後児童会（道小）の移転による施設の多機能化の検討	◎	-	-
藤井寺中、道明寺中、第三中	・教育上の観点や生徒数の動向、地域性等を踏まえた将来的な施設のあり方の検討	○	○	◎

【重点取組】 **将来的な児童数・生徒数の動向等を踏まえ、本市における学校のあり方や適正な施設数を検討します。**

4. 個別施設の再編の方向性

④安定した行政サービス提供のための再編

【目指す姿】 **施設利用者の安全確保と“安定的かつ効率的な行政サービスの提供”**

- 【課題】
- ・藤井寺市支所、清掃作業所、文化財発掘調査整理室の耐震性の確保
 - ・市域に偏在する行政窓口機能（市西部：市役所・生涯学習センター、市東部：支所のみ）
 - ・市域に分散し、非効率な状況にある小規模な倉庫

施設名	再編の方向性	再編時期		
		短	中	長
藤井寺市役所	・継続使用	-	-	-
藤井寺市支所	・土師ノ里駅周辺の施設への機能移転の検討	◎	-	-
清掃作業所、都市整備部詰所	・作業所・倉庫等を複合化した施設の再整備の検討	◎	-	-
文化財発掘調査整理室	・世界遺産ガイダンス拠点としての機能の充実を図ることができる施設への機能移転の検討	◎	-	-
保健センター	・継続使用	-	-	-
藤井寺西小学校西側倉庫	・廃止の検討	◎	-	-
文化財収蔵庫	・継続使用（借地料が無償の間）	-	-	-
津堂合同倉庫（旧あゆみ）	・作業所・倉庫等を複合化した施設への機能移転の検討	○	◎	-
消防団車庫〔6施設〕	・継続使用	-	-	-

【重点取組】 **耐震性のない藤井寺市支所において、市東部での行政窓口機能の確保を前提として、土師ノ里駅前駐輪場など土師ノ里駅周辺施設への機能移転を検討します。**

⑤広域化・公民連携による行政サービス充実のための再編

【目指す姿】 **“府や近隣市町、民間と連携したサービスの充実”**

- 【課題】
- ・藤井寺市民病院の老朽化の進行、施設にかかる高コスト
 - ・藤井寺市営火葬場の老朽化の進行と耐震性の確保、移転や現地建替えへの課題
 - ・民間により同種サービスを提供している施設における今後の公共施設のあり方

施設名	再編の方向性	再編時期		
		短	中	長
訪問看護ステーション	・将来的な民間移管を含めた経営形態の見直しの検討	○	○	◎
福祉総務課作業所	・代替場所等への機能移転の検討	○	◎	-
藤井寺市民病院	・将来的な民間移管を含めた経営形態の見直しの検討	○	○	◎
藤井寺市民病院医師公舎	・廃止の検討、倉庫部分は市民病院または作業所・倉庫等を複合した施設への機能移転の検討	◎	-	-
休日急病診療所	・市民病院や民間医療機関等との連携の検討	○	◎	-
藤井寺市営住宅	・廃止の検討（H29策定予定の住生活基本計画の方針と整合）	○	◎	-
藤井寺駅南駐輪・駐車場	・将来的な駅周辺整備と連動した隣接施設と一体的な再整備の検討	○	○	◎
土師ノ里駅前駐輪場	・近接する施設の移転による施設の多機能化の検討	◎	-	-
藤井寺市営火葬場	・改修、建替え、周辺自治体との広域化等あらゆる可能性の検討	◎	-	-

【重点取組】 **長期的な視点でみた機能のあり方と最適な提供方法を踏まえ、様々な主体との連携体制の構築を検討します。**

5. 公共施設再編にあたって

●再編に向けた公共施設マネジメントの推進体制

- ・個別施設の再編実行計画の策定等による公共施設の再編の推進
- ・有識者等による検討委員会の活用や重点取組ごとの検討部会の設置等による推進体制の充実

●市民等との協働による再編の推進

●再編による財源の確保

- ・余剰となる建物・土地の民間等への貸付・売却
- ・まちづくりと連携した公的不動産としての活用

●再編と連動した公共施設保全計画の見直し

●発行：藤井寺市 ●編集：総務部資産活用課

〒583-8583 大阪府藤井寺市岡1丁目1番1号

TEL：072-939-1111

http://www.city.fujiidera.osaka.jp/

